

第2回白石町学校統合再編審議会 グループ対話集計

1 中学校の統合再編について		理由
早急に実施すべき	14人	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒のため。</li> <li>教育費の充実を図る。</li> <li>学習、部活動が保障されない。</li> <li>スケールメリット。</li> <li>校舎の老朽化。</li> <li>部活やクラブ行事でも少ないため盛り上がり欠ける（部活動の選択肢の減少）。</li> </ul>
将来的には実施すべき	8人	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の文化を見つめて、100人くらいになってから2~3年、4~5年くらいでの再編。</li> <li>5年以内（地域の方の意見も）。</li> <li>中学校は少し先でもある程度の期間を置いてよい。</li> <li>小学校が先だと思ふ。</li> <li>将来のことを考えて、教育体制を整えるべき（時代に沿って行くように）。</li> <li>早急、将来的…というのはどれくらいの時期なのかがよくわからない。</li> </ul>
2 小学校の統合再編について		理由
早急に実施すべき	11人	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童数が減で仕方ない。</li> <li>児童のため。</li> <li>教育の効果を考えたら早急すべき。</li> <li>校舎の老朽化。</li> <li>特に小学校は少人数化が顕著であり、少ない方がよい。</li> <li>20人を切っている学級も出ており、数年後には100人を切る学校もある。</li> <li>小学校の資料を見ると施設面、人数で早急にすべきだと思う。</li> </ul>
将来的には実施すべき	10人	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域とのつながりが強い。</li> <li>地域への説明は慎重に。</li> <li>旧町には1つずつ必要。</li> <li>中学校よりも通学等で検討が必要。しかし、できるだけ早い審議をすべき。</li> <li>小学校はあと5、6年後には創立150周年であり、地域の方もいろいろと考えられている。</li> <li>通学が心配である。いろいろな地域の子どもが一緒にとなるとなれば、その文化、地域のこと、支援を考えて6~7年後くらいに。</li> <li>地域の皆の意見を聞く必要がある。</li> </ul>
現在の8小学校を維持すべき	1人	<ul style="list-style-type: none"> <li>現実がわかるが、学校は地域と一緒にある。地域が衰退してしまう。</li> <li>子どもがいないことの想像もできない（がっかりの意味）。</li> </ul>
3 この審議会のスケジュール（審議期間）について		理由
慎重に審議しながら令和元年内（今年12月まで）に結論を出すべき	5人	<ul style="list-style-type: none"> <li>「する」か「しない」が早く決めて欲しい。</li> <li>「する」という前提でしている。8年前から話が出ている。</li> <li>「する」という思いで参加している。</li> <li>「する」「しない」の段階ではない。</li> </ul>
慎重に審議しながら令和元年内（来年3月まで）に結論を出すべき	12人	<ul style="list-style-type: none"> <li>その後のスケジュールを考えて多くの意見を聞く期間が必要。</li> <li>目標は年度内に大まかな線を決める。統合ありきの方が周りにいる。その希望が多い。</li> <li>中学校→小学校の流れで審議すれば可能。・2年はダラダラ。</li> <li>不十分なもやもや感が出る前に方向性を決めるべき。</li> </ul>
慎重に審議しながら令和2年度内（2年を目的）に結論を出すべき	4人	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校は1年で可能。・小学校は長い検討が必要。</li> <li>補助金の活用を視野に入れると、早急な審議が必要。</li> <li>話がスムーズに進めば早くても良い。</li> <li>違う地域と同じになる時の対応（説明とか不安がある）。</li> <li>校区の問題がある。</li> <li>学校には振興会があり、地域の方からも支援。早期は厳しいのでは。</li> <li>慎重に審議をして、決まったら早くして欲しい。財政面について厳しいことは分かっているが、活用しない校舎になった場合金を使ってくれないという話も聞く。</li> <li>早く決まったら、既存の校舎にはお金が来ないのではないか。不平等が生じるのでは。</li> </ul>
その他	1人	<ul style="list-style-type: none"> <li>町教委がまず期限を決めるべき。</li> <li>人任せ感がある。</li> </ul>
4 この審議会で審議すべき内容について		理由
校区の話は分るが子ども達のこと、その先のことを考えるべき。（地域のこととはわかるがこの件で子ども達を縛ってよいのか。）諮問に書いてある適正規模をまず審議、検討すべきではないか。それを先にすべきで、新しく校舎を作るとなると財政的な面も出てくるのではないか。		
・旧3町にとられずにしないといけないのではないか、その辺の住民の理解が得られるかを考えて、新しい枠組みができるがそれに対する理解を得る進め方を検討しないといけない。		
・枠組みを教育委員会から出した方がよい。		
・先進地の意見を聞きたい（どのように進んだか、どうやたらうまくいくか）。		
・そもそも町教委は、何を審議してもらいたいのか。あまりにも審議会任せである。		
・審議内容を示してもらったものを、いいのかわいのか考える。		
・「する」「しない」ではなく、「する」という前提で進めていくべき。		
・諮問を受けたからには答申をするが、基となる「たたき台」が必要。そうでないと進まない。		
・町教委が考えている案を出して欲しい。その案をたたき台として、その案について、気付きを話すことができる。この会だけで案を出すのは無理がある。		
・統合の有無をまず固めるべき。		
5 この審議会に必要な資料について		理由
・学校の適正規模を整理した資料を準備してほしい。		
・他の統合した自治体の資料が欲しい（良かったこと、苦労したことなども知りたい）。		
・スクールバス（運行面、通路など）。		
・区割りをする上で、長期的な目を見た、その地域の子どもの数。		
・スクールバス運用のモデルケース（費用含む）。		
・子どもの意向調査。		
・財政面の比較（1校・3校・8校の場合）。		